聴力資料

一番

男の人：そうですか。あのう、匂いと一緒に何か煙ようなものを出ていますか。

女の人：煙ですか。それは出てません。

男の人：それではレンジの上になにか置かれていませんか。

女の人：いえ、特に。

男の人：えと、そうしましたら、レンジの内側に食品の滓や油がついて

　　　　それが加熱されて匂いの原因になることもあります。汚れを 拭き取っていただきますと匂いがしなくなると思います。

女の人：はい、やってみます。

男の人：で、もしそれでも解決しないようなら、修理に出してください。その場合は、担当者が引取りに伺いますので、

　　　　お手数ですが、再度お電話いただけますか。

女の人：わかりました。

男の人：では、よろしくお願いいたします。

憤る（いきどおる）

二番

課長：あっ、林くん、おはよう。今、大阪支社から電話があって、昨日到着するはずの荷物がまだ届いてないんだって。

男の人：えっ、新商品のサンプルと商品紹介の資料ですよね。昨日大阪に届くように送ったんですが。

課長：明後日の家電フェアで使うものだから。今日には届いてないとまずいよね。

男の人：予備のものをすぐ送りますか。

課長：うん、ちょっとまって。とにかく、荷物の状況を把握しないと、運送会社に問合わせてくれる。

男の人：はい、わかりました。

課長：資料は電子データで事前に送ってあるから。問題はサンプルの方だよね。万が一、見つからないなんてことになったら、直接持って行ったほうが早いね。

男の人：そうですね。

課長：大阪支社には私が連絡しておく。日が迫ってるからすぐ動いてね。

男の人：はい、わかりました。

三番

大学で国際交流サークルの男の学生と女の学生が話しています。男の学生はこのあと、何をしなければなりませんか。

男の学生：先輩、今度の留学生との交流会五十人も申込みがありました。みんなでお好み焼きを作ってたべるっていう企画が良かったんでしょうか。留学生と日本人が半々ぐらいです。

女の学生：五十人か、予想以上だね。申込者の情報をまとめておかないと、国籍とか学部とか、グループ分けに必要な情報を入れて、リストを作ったほうがいいね。いつもより、人数が多い

から、いろいろ大変かもね。

男の学生：そうですね。調理の道具ももっと用意したほうがいいです。

女の学生：道具は余裕を持って用意してあるから。それより、当日の進め方をよく考えないと。うん、自己紹介はいつもみたいに一人ずつ順番にしてもらうんだと、時間かかっじゃうよね。

ちょっとしたゲームとかのほうがいいか。

男の学生：ああ、知り合うきっかけ作りになるような...

女の学生：うん、来週のミーティングまでにちょっと考えてみるよ。グループ分けも来週したいから、それまでにリスト、お願いしてもいい？

男の学生：あ、はい、わかりました。

女の学生：当日のスケジュール表はわたしが叩き台を作ってくから。ミーティングで確認しよう。

四番

会社で女の人と男の人が話しています。男の人は、これから、まず何をしなければなりませんか。

女の人：加藤さん、来年の新入社員の研修なんだけど、今回も全体のコーディネート、お願いしますね。

男の人：はい、確か、去年実施した社内アンケートで改善して欲しいっていう意見がありましたよね。

女の人：うん。パソコンの基本操作を研修で扱ってほしいっていう意見が多かったね。最近、スマートフォンなんかが普及したせいか、キーボード入力とかのパソコンそ操作に慣れてない人が

結構いるんだよね。

男の人：ええ、ただ、できる人は出来るんですけどね。

女の人：うん、だから、新入社員のパソコンスキルを研修前に確認したらいいと思うんだ。ちょっとインタネットで探してみたら、パソコンのスキルがどれぐらいかを無料で簡単に測定してくれる

テストがあるみたい。実技と知識の問題が含まれてるようなんだけど、内容は適当かどうか、試しにやってみてくれる？サイトを教えるから。

男の人：わかりました。もしそれを使うとしてスキルの低い人がいたら、どうしますか。そういう人向けのマニュアルでも作りますか。

女の人：マニュアルだけじゃ難しいでしょう。

男の人：そうですね。

女の人：結果を見てから、それに合わせて研修の内容を考えましょうか。外部に講師の派遣を頼んでもいいし。

男の人：わかりました。

五番

出版社で雑誌の記者と編集長が話しています。記者は、このあと、何をしなければなりませんか。

記者：編集長、この間確認をお願いした特集記事の原稿、見ていただけたでしょうか。

編集長：うん、見たよ。四十代からの転職がテーマだよね。上手くまとめられてはいるんだけど、転職経験者の話はインタビューを元にしてるんだよね。

記者：はい。五人の方にインタビューした内容をまとめて、記事にしてあります。

編集長：五人か、うん。まあ、人数はそれでよしとして、内容を要約するために言葉を言い換えたりしてると思うんだけど、その人達が使った表現をそのまま記事に盛り込むといいんじゃないかな。生の言葉の方が断然インパクトがあるから。

記者：ああ、はい。

編集長：録音したインタビューは文字にしてある？

記者：え。全部ではないんですが、重要なところは。

編集長：そう。じゃ、その中で、記事にそのまま使えそうなのがないか見てみて、せっかくインタビューしたんだから、最大限生かさないと。

記者：はい。

六番

バザーの会場で女の人が話しています。ボランティアの人たちは、これから、まず、何をしなければなりませんか。

女の人：えー、ボランティアの皆さん、こちらに明日のバザーの品物が集めてありますので、仕分けと値段のシール貼りをお願いします。品物ごとの値段一覧表を見ながら、シールを貼っていってもらいます。えー、衣類、おもちゃなどの種類別にわけてからの方が効率がいいので、先にそれをお願いします。それぞれ箱を用意したので、入れていってください。去年は新品課、中古課の区別もしたんですが、煩雑なので、今年はその区別はしません。去年も参加された方、ご注意ください。値段を付け終わったら、各販売コーナーに運んでいただきます。何を、どこで、売るかは既に会場内に貼ってあります。

一番

会社で女の人と男の人が話しています。女の人は何が残念だと言っていますか。

女の人：うちの会社、社長が交代してから、いろいろ変わったよね。

男の人：ああ、社内の雰囲気明るくなったよね。鍋の新しいシリーズの売り上げが好調だからかな。

女の人：ああ、そうだね。

男の人：どうしたの。

女の人：前の鍋のシリーズ、製造中止になったでしょう。個人的にはすごく愛着のある商品だったから、残して欲しかったなあって。創業時からの看板商品だったのに。

男の人：うん。僕は新しいシリーズも好きだけどなあ。デザインもおしゃれだし、品質も更に良くなってるし。

女の人：それは確かに、使い勝手もいいって評判だよね。

男の人：まあ、前のシリーズの製造をやめたのは工場の生産ラインの整理ってことだから、仕方ないよね。

女の人：社長が決めた方針だから仕方ないとは思うんだけどね。ただ、残念なだけ。

二番

テレビでアナウンサーと男の人はあるサッカーチームについて話しています。男の人は、どうして、このチームに注目していますか。

アナウンサー:今日は、サッカー解説者の佐藤さんに今年の優勝チームを予想していただきたいと思います。では、佐藤さん、早速ですが。

男の人：あっ、はい。ええ、今年は特にこれと言ったチームはないですが、その中で私が注目しているのがリング東京なんです。

アナウンサー:　ほかの方の評価はあまり高くないようですが

男の人：まあ、そうですよね。チームに資金力がないので、新たな選手の獲得はできませんでしたし、主力の鈴木選手も怪我の影響で今年はプレーできそうにありません。

アナウンサー：はい。

男の人：ところがですね。去年の後半からレギュラーに定着した二十代前半の選手、実はこのような若い選手がチームの半分を占めているんですが、試合を重ねるごとに、プレーの質が上がってきているんですよ。

アナウンサー：ああ、確かに。

男の人：ええ、ですから、これで今シーズン、選手の間に監督の試合の進め方が浸透していたら、ねえ。今年ひょっとしたらひょっとするかもしれません。

アナウンサー：そうですね、そうなると、これは期待できるかもしれませんね。

三番

パソコン講座で先生が話しています。今日これから、勉強する内容はなんですか。

先生：ええ、それでは、今日も引き続き文章作成の方法について勉強していきますが、その前に、何か質問ありませんか。ええと、なければ、図表や画像の挿入に入ります。ええと、前回はごく基本的な文字入力、ああ、それと文章の保存方法についてでしたね。それも踏まえて、じゃ今日はやっていきます。あ、最初の段階からレイアウトにこだわる人もいますが、それはもう少し先でやりますので、今日は見た目の悪さには目を瞑ってください。では、始めましょう。

四番

レストランでインテリアコーディネーターの女の人と店のオーナの男の人が話しています。女の人は、この店の売り上げを伸ばすためにどんなアドバイスをしていますか。

女の人：今日は、こちらのお店の改装のご相談ということですね。

男の人：よろしくお願いします。店も随分古くなったので、内装を変えたいと思ってるんます。売上も伸び悩んでるので、これをきに来客数を増やせればいいなあと。

女の人：そうですか。こちらのお店は壁の色が青で統一されてるんですね。青系の色は清潔なイメージを与えるんですが、赤やオレンジ系の色の方が活動的な気分になるので、客の滞在時間が短くなると言われています。

男の人：ああ、回転率が上がるってことですね。そうなればありがたいです。

女の人：でしたら、この点を改善されるといいと思います。あとは照明ですが、店内の明るさは十分ですね。照明が明るいと、来客数が多く期待できるんですよ。

男の人：はあ、飲食店ではあまり明るくしないほうがいいという意見もあるので、どうかなと思ってたんですが。

女の人：ええ、まあ、テーブルの間隔が狭いお店では、隣の席の人とかが視界に入りやすいので、明るいと居心地が悪くなるんですが、これぐらいテーブルが離れていれば問題ないと思います。

男の人：そうですか。

女の人：植物を置いたりすることをおすすめすることもあるんですけど、それはもっと、ゆっくり寛いでもらいたいお店の場合ですね。

男の人：なるほど。じゃあ、少し検討をさせてください。

五番

女の人と男の人が使わなくなった携帯電話について話しています。男の人が、携帯電話の部品の再利用に協力していないのは、どうしてですか。

女の人：村田くんは使わなくなった携帯ってどうしてる。

男の人：引き出しに入れてあるよ。なんで。

女の人：新聞で見たんだけど、廃棄された家電や携帯の部品から金や希少金属を取り出して、　再利用してるんだって。

男の人：ああ、知ってる。製品一つ一つから取れる量は少ないけど、廃家電全体では莫大の量の金属になるらしいね。

女の人：うん、携帯電話も日本全体で使われてる数ってすごいもんね。私もこの前、古い携帯お店に持ってたよ。村田くんも、回収に出せばいいのに。

男の人：ああ、いや、はじめて買った携帯だし、データも残ってるし。

女の人：データを確実に消去してくれるお店なら、心配ないよ。手続きがあやふやなお店だとやめたほうがいいけど。

男の人：個人情報は流失しないように対策取れると思うんだけど、いろいろ思い出もあるから、簡単には手離せなくて。

女の人：ええ、貴重な資源だよ。

男の人：まあね。

六番

ラジオで女のアナウンサーと社長が話しています。漫画は社長にとって、何に役立っていると言っていますか。

アナウンサー：こんにちは、社長の読書のコーナーです。早速ですが、吉田社長は人気漫画の侍物語を全三十巻お読みになったと伺いましたが。

社長：ええ、それがきっかけでうちの商品開発につながったんですよ。漫画はアイディアの宝庫だと思います。他にも漫画からヒントを得って作った商品があるんですよ。

アナウンサー：ああ、そうですか。

社長：皆さんもご存知の通り、国内に留まらず、海外でも漫画の愛読者が増えているようですね。未来の科学技術を予言するものから、人間の心理を描いたものまで幅広く、かつ深い　　作品が多いですからね。日本の漫画を読んで、日本文化やロボットなどの先端技術に興味を持つ方も多いんじゃないですか。

アナウンサー：はい、今や日本文化の発信の一端を担ってると言われていますね。

社長：ええ、日本を深く理解する人が増えることが、将来、日本商品の人気に繋がり、うちの商品の海外での販売地域の拡大に繋がることを期待しています。

七番

ラジオでアナウンサーがある町の問題について話しています。アナウンサーはどんな対応策が一番喜ばれていると言っていますか。

アナウンサー：最近、桜町では、郊外に大きなスーパーができた影響で、住宅の近くの店が減り、運転できない人、特に高齢者が日々の食料品の買い物に不自由しているという問題が起きています。町は企業と協力して様々な対応に乗り出しています。スーパーなどが野菜などの食料品を自宅まで届けたり、弁当の配達を行ったりもしていますが、なかでも評判がいいのは、商品を乗せた車が定期的に住宅街を回るというものです。住民からは近くで買い物できるようになって嬉しいという声が聞かれます。ええ、店に買い物に行きたい人のために、

今後、郊外のスーパーに行くバスを増やすという対策も検討されています。

一番

テレビで男のアナウンサーと教育評論家が話しています。

アナウンサー：本日は教育評論家の川村さんにお話を伺います。川村さん、先日、大学生の生活時間調査の結果が発表されましたね。

教育評論家：ええ、調査結果の中で、電子書籍を含む読書時間が一日に全くないと答えた大学生が五割に登ったという報告がありましたね。読書離れが加速していると言えます。

アナウンサー：そうですか。

教育評論家：読書はしたいが時間がないと答えた学生が多かったようですね。最近の学生は、サークルやアルバイトで忙しくなっているようです。生活費や交際費がかさむということで、アルバイトの時間は年々増加していますし。

アナウンサー：読書離れは携帯電話やパソコンの普及も影響しているのでしょうか。

教育評論家：そのような意見もよく聞かれますね。まあ、今回の調査からは明確な関係は見られませんでしたが。

アナウンサー：そうですか。

教育評論家：本が売れなくなり、出版業界も苦労しているようです。思考力を鍛える為にも、学生のうちに哲学書や長編の文学作品など、読んで欲しいですけどね。

二番

会社で男の人と女の人が話しています。

男の人：うちの部署、毎月全体会議があるんだけど、毎回長くてまいっちゃうよ。

女の人：そっか。仕切る人の手際の問題？

男の人：うーん、それは要領を良く進めるために、主要メンバーの人たちが前もって打ち合わせをしてるんだ、だから、手際は悪くないんだけど、会議になると、結局議論が紛糾しちゃうんだ。

女の人：そうなんだ。意見がいろいろ出て、まとまらないってこと。

男の人：うーん、ていうより、異議を唱える人たちが、ただ反論するばっかりで。じゃあ、実際にどうしたらいいかっていうことまで言わないから、話が集約されていかない感じかなあ。

女の人：なるほどね。それだと、なかなか結論が出ないかもね。

男の人：そうなんだよ。正論を言いたいだけの人もいて、結局しゅうしゅうがつかなくなるんだよね。

女の人：そうなんだ。

三番

ラジオで作詞家が話しています。

皆さんはせっかく浮かんだ（うかぶ）アイディアを忘れてしまって、悔しい思いをしたんだことはありませんか。僕なんかしょっちゅうなんですが、でも、最近、それを克服しつつあるんです。僕は作詞するとき、日常の中でふと（突然の意味）言葉が出てくるタイプなんですが、そういう瞬間を逃さないようにするために、いつも小さいノートを持ち歩くようにしたんですよ。その時の思いつきが後々役立つかもしれませんからね。まあ、最初は作詞のためのノートだったんですけど、最近はそれだけじゃなくて、やってみたいこととか、今月の目標とか、思いついたことをなんでも書き留めておくノートとして使っています。皆さんも一度お試しください。

四番

和食のセミナーで食品会社の社員が話しています。

味噌は味噌汁をはじめ和食に欠かせない調味料ですね。味噌には大豆味噌、米味噌、麦味噌といくつか種類がありますが、どの味噌も味噌汁などに使う場合は加熱しすぎないようにすると香りよく作れます。味噌は発酵食品ですが、発酵の過程で生じる香りの成分は、加熱することで気体化し、それが鼻に届くことで香りとして感じられるんです。味噌汁も沸騰させてしまうと、その成分が飛んでしまい、美味しさを感じさせなくなってしまいます。

五番

テレビである病院の院長が話しています。

うちの病院は廊下や病室に約三百点の絵画を飾っています。昨年購入しましたが、費用もかかりましたので、計画の段階では内部関係者から絵より医療機器を購入すべきという意見もありました。ただ、今年行ったアンケートでは患者や家族の癒しになっているなど、肯定的な反応は大半でした。職員にも心のゆとりが生まれています。更に、最近では近くの美術大学と連携したプロジェクトも始めています。例えば、職員も参加して待合室の窓ガラスを装飾したり患者さん向けのアート教室や作品の展覧会を開催したりしています。

六番

大学の考古学の授業で先生が話しています。

皆さんは遺跡発掘の現場を見たことがありますか。発掘は地道な作業の繰り返しですが、世紀の大発見があった時には、ニュースでも大きく取り上げられます。古い書物に記述があっても、実在したかどうか、そのしんりが定かではないものがたくさんあります。しかし、土の中に埋もれていた遺跡が新たに発掘されることで、ある説が証明されたり、逆に否定されたりします。歴史が書き換えるといってもいいでしょう。例えば、私が小学校の時に習った時代区分と最新の時代区分とは異なっているものもあるんですよ。小さな器（うつわ）の欠片から遥か昔のことがわかるなんて、面白いと思いませんか。

いやあ、僕、全国大会で優勝できて、これ以上の達成感ないよ

努力してたもんね

何かやり残したことがあるんの

最後まであきらめないでまだわからないよ

ねえ、日曜のキャンプ、雨が降っても、大雨にならない限り、予定通りでいいよね。

うん、大雨だったら、やめる仕方ないけどね。

ああ、大雨だから、キャンプはいかないんだね。

えっ、大雨でも予定通りやるつもり？

市役所で職員三人が話しています。

A:ここ数年、うちの市でも、高齢者向け施設で介護をする人手が不足でしょう。何か手を打たないと。

B:市内の各施設からの報告を見ると、原因は離職率は高いことですよね。三年未満でやめていく人は多いのはやはり体力的にきついからでしょうか。

A:それもあるでしょうね。まあ、待遇をよくすることが、問題解決への近道ではあるんだけど、これは　それぞれの施設で決めることだし。

C:あのう、私がいくつかの施設で聞いた話では、悩みを打ち上げる場がないのが辛いっていう人も多いようなんです。

A:そうですか。じゃあ、悩みを救いあげるために、各施設で定期的に管理者と新人職員との面談するよう、指導しましょうか。

C:うーん、なんていうか、横の繋がりが欲しいんじゃないでしょうか。ひとつの施設に新人が一つだけってことも多いので、同世代とか同期と話せる場が必要だと思うんです。上司に言いにくいこともあるでしょうし。

B:それで、市内のいくつかの施設の職員が集まるってことですか。時間の調整が大変じゃないですか。

C:ええと、研修という形にすれば、勤務時間内に参加できると思います。手軽に話し合ってもらうことから始めるというのはどうですか。

B:ううん、話すだけで解決するのかな。過重労働を軽減するほうが必要じゃないでしょうか。介護用のロボットも出てますし、そういうのを導入できるように、補助金の制度は設けるのはどうですか。

B:うん、制度を設けるにしても、今年度は難しいですね。今回は横のつながりを重視する案を具体化していきましょう。

大学で先生の説明を聞いて、女の人と男の人が話しています。

先生：皆さん、この総合社会学部では二年次から四つの専門コースに分かれます。今日と明日、午後二時から、各コースの説明を四つの教室に分かれて行います。一番教室では、経営コースの説明をします。このコースでは経済学や経営学に関する科目を中心に学びます。二番教室は、公共政策コースです。行政に関わる法律や政策実行に関する知識を身につけるコースです。三番教室は観光デザインコースです。観光によって、地域を活性化する方策を学ぶコースで、観光業での実習の授業もあります。四番教室はメディア情報コースです。メディアの可能性や社会的な影響について学び、情報を社会に伝えていく力をみにつけるコースです。

ええ、説明を聞いて、コース選びの参考にしてください。

A:どれも面白そうだね。私は卒業したら、地元に帰って、市役所に勤めたりできればいいなと思ってるんだ。

B:じゃ、公共政策コースの説明を聞きに行くの。

A:うん、私の地元は歴史ある町なんだけど、今、あんまり知られてないから、もっと旅行者が増えて、町全体に活気が出るといいなとおもってて、法律よりもそういう角度から学べるコースにしようと思ってる、今日はその説明を聞きに行くつまり。

B:将来のことしっかり考えててえらいな。僕は最近、マスコミの仕事に興味を持ち始めて。

A:え？実家の会社を継ぐんじゃないの？会社経営の勉強をするのかと思ってた。

B:まあ、親には、そう言われてるけどね。僕にとっては、自分が興味のあることを勉強してみたいんだ。情報発信力ってどんな仕事につくにしても役に立つだろうし、今日はそのコースの説明を聞きに行くよ。

A:そうか。